

だんわかはつうじん

## 談話会通信 NO31

新入・住変・観察会	1
他のページ	2
伝言板	5
講題説明 Part I	6
講題説明 Part II	7
りへい板	8

桜は葉桜となり、木々の緑が一段と映える。この時期ではシジキモリガモが卵のうをかかえて走りまわっています。これからはウモの活動が盛んになり観察、研究には良い時期となってまはりました。皆様はいかがお過しでしょうか。

### 新入会員

多家 小ちるさん 〒251 神奈川県横浜市鶴見区鶴見内

### 住所変更

吉田 勝さん 〒199-61 山形県最上郡鏡石町大字向町方62  
鶴田 志雄さん 〒230 千葉市高次19-3 鶴巣高次北2-305  
古天 笑子さん(旧姓・加藤) 〒308 茨城県、下館市大字高成佐和11-19  
西川 善朗さん 〒567 大阪府茨木市穂積台7-17  
川辺 さくらさん(旧姓・松田) 〒080-15 北海道河東郡鹿追町字塘平

### 会員名簿訂正

P.7 立花章さん 住吉区小坂町を住吉山坂町に修正

P.3 具巻憲治さん 松阪市を松阪市に訂正

## 春の観察・採集会 5月11日(日)

前の決定では、養沢周辺となっていましたが、交通の便により、高尾山に変更となりました。

・日時：5月11日(日) 10:00 集合

・集合場所：京王線、高尾山口駅前

・観察場所：高尾山 6号路

・持ち物：昼食・採集観察用具など

\*雨天決行



新宿から来る方は京王線の方がはるかに安いようです。

<連絡先> 新海棠一 0423-21-0289, 蓮沼克己 03-744-0063

自分のページ・みんなのページ  
をまぐれが入る。



### ▶ 佐藤 芹子 氏より

3月30日、称名寺に蜘蛛を訪ねた。称名寺には有名な金沢文庫があり、又、池のまわりにある古木のたたずまいには四季を通じて風情があるので此所を訪ねる人も多いのですが、あまり気にならない。まず山門と楼門の間を結ぶ石壘のやきの石垣。石と石の間ぐゑくぼみに、ハグモの住居と同様家を作ったナリグモや斑紋のれで薄いオオヒメグモ。ハグモの仲間などのが問題のある個体等をみつけた。境内に入って一本の木の皮をはぐと、どの皮の下から普通にハタガニグモの成体や仔グモ、それからコサラグモ、S.P.が、ボロボロと面白い様に姿を現す。本気になって数をしらべたとしたら、相当な数になる事と思ふ。境内の裏側は湿地の谷戸地になっていて、野草以外の親子づれの姿が見えた。その中にまで、てん草の中を探しに探す。一瓣にう個体もの小さな蜘蛛が逃げるのだから、管ビンがちぎれてしまう。蜘蛛の観察がなければ、草の上に寝こもがってしまいいたい程良いは和であつた。

ヒラタグモ、オオヒメグモ、クリグモ、ハグモ sp. ムツアカブクログモ、キハダカリニグモ、コサラグモ等、か

ラスハエトリ、ウロコアシナガグモ、フクログモ sp. ウツキコモリグモ、ベミイロカニグモ、イオウイロヘニワグモ、アオオビハエトリ、ウツアカムギグモ、シボグモ、キレワヘエトリ、ヨダンハエトリ、オトヒメグモ、スキグロオナバヒメグモ、ウラシマグモ、ヨツコブヒメグモ、ヤサアリグモ、ヤボシヒメグモ、キドカリグモ、カイヅクコモリグモの1種、シヤコグモ、ジガバケグモの1種、ヘリヅワサラグモ、以上31種。

参加者 熊田・日下部・佐藤

### ▶ 岩川 伊智郎 氏より

HOT-DOGという若者むき雑誌に面白い記事が出ていました。  
ハンドドッグ・プレス No.11 です。  
・毒グモ・タランチュラがペットとして大モテ

アメリカ人はなんでもペットにしてしまうけれど、これはちょっと過ぎ去じやないかね。それにしても毒グモのタランチュラを飼うのが大流行なのだから。

「もうトキ、ひと月の売り上げが500匹にはさと思う」ことはよく聞く顔だが、マイアミのペット業者、ジョンダ・モースリーさん。「6~8ヶ月ごとに500匹のタランチュラを仕入れておけど、すぐ売り切れててしまうのだ」

「タランチュラに噛み小ると死ぬ、でいうのは伝説」とアリゾナ州のツーリングでペット類と離れてはるデヴィット・ヴァン・ボーデグレイヴニ氏。

天敵は「蝶に捕されたの入り込んだ」  
「アシナガバチ」等のアシナガバチ  
「アシナガバチ」と云うだけです。去年  
は日本全国で約10万匹のアシナガバチを販売  
した。体長15センチのアシナガバチ下  
は、生産して供給するデュラスメ、ハイ  
ギヤ、メギジタが輸入してある。雄  
は5~7年、雌は10年、雄はなん人か  
20年も生きる。ペットとしては、生  
き残る可能性があると云ふ事がたまに  
「百々草屋販売部が最高だ」と言  
う。アシナガバチの生態は、(生態  
是非、私も觸れました)皆さんは?

(ナカニシイハシ)

松本城五郎(二人より)、緒  
「1950年2月16日朝日新聞夕刊5面  
文化欄に大川親雄氏(三重県津市中央  
町)に於て、日暮地獄科のお医  
者と以下が「耳の中へ入る虫」と  
いうのを書いていました。氏の調査  
1173例中、蟻が145例、甲虫が  
94例、双翅類2例、半翅目31例。

ミ16例、ミミ13例で、その他の例と  
して、クモ・ダニ・チャタマリ・  
ゴキブリなど(一部省略)が荔  
とありました。家の中を歩きまわっ  
ているクモが入ること、耳の中  
で動きまわると痛いのがひどいので、  
まずオリーブ油など刺激の少ない  
植物油(機械油はせ、たへにない)  
を注入して殺してから、医者にヒ  
だしておればよいと書いてあります  
。ガス器具の空気孔に入るクモ  
もいたりかなりいたから、よくあります

アシナガバチの生態は、(生態  
是非、私も触れた)アシナガバチ  
「アシナガバチ」と云うだけです。去年  
は日本全国で約10万匹のアシナガバチを販売  
した。体長15センチのアシナガバチ下  
は、生産して供給するデュラスメ、ハイ  
ギヤ、メギジタが輸入してある。雄  
は5~7年、雌は10年、雄はなん人か  
20年も生きる。ペットとしては、生  
き残る可能性があると云ふ事がたまに  
「百々草屋販売部が最高だ」と言  
う。アシナガバチの生態は、(生態  
是非、私も触れました)皆さんは?

(ナカニシイハシ)

松本城五郎(二人より)、緒  
「1950年2月16日朝日新聞夕刊5面  
文化欄に大川親雄氏(三重県津市中央  
町)に於て、日暮地獄科のお医  
者と以下が「耳の中へ入る虫」と  
いうのを書いていました。氏の調査  
1173例中、蟻が145例、甲虫が  
94例、双翅類2例、半翅目31例。

ミ16例、ミミ13例で、その他の例と  
して、クモ・ダニ・チャタマリ・  
ゴキブリなど(一部省略)が荔  
とありました。家の中を歩きまわっ  
ているクモが入ること、耳の中  
で動きまわると痛いのがひどいので、  
まずオリーブ油など刺激の少ない  
植物油(機械油はせ、たへにない)  
を注入して殺してから、医者にヒ  
だしておればよいと書いてあります  
。ガス器具の空気孔に入るクモ  
もいたりかなりいたから、よくあります

まりは、ヨガ型と「うおお」の形で、自分の巣を作るが、こまでは親に教えられた行為ではない。リモの母親が子供に、お前も成人式を迎える、つまでは巣の作り方を教えようといふことではなくて、母子は両目である、でも正確な角度で巣を張りめぐらす、とができる。

（か）巣の目方は非常に軽い。  
材料が極度に節約されていい。有名な建築家に頼んで、リモの巣を見せて貰ひて、そのために一番いい巣を設計してくれば、それでも、こんな見事な住宅を設計するかどうか疑問だ。材料費が極度に節約され、間がスースー空でいいから、目方は極度に軽い。（か）、風雨には十分耐える。形も美しい放射状で幾何学的な対称美を持っている。（以下略）

（私）“統、逆転の発想”を読んでみましたが面白いくらいだと見えます。  
（読んでみてはいかがですか） 編集

## ► 鈴木 勝治 んより

- 自宅で採集した興味あるクモ各種
- ・天井から降ってきたオキツハネグモ  
あれは去年の夏のことでした。おそらに目覚めの私は、洗面所にいき洗顔（おひ）ました。すると右肩にかすかに伝わる快感を経験したこれはクモに違ひないと感じた私は、肩から胸の方にはねてきたクモを採集しました。体長がスリムたらずで1cm、成体であつたらいいが、もうほのかな期待をかけて、近所を

の下で観察してみました。目は6眼、歩脚節が太い、頭部の模様の顕著な特徴などよりオキツハネグモであることがわかりました。私にとってオキツハネグモははじめてでしたので感激しました。このように、採集には偶然という運が大きいくらいです。

## ・家にいたコクナゲモ

（私）4月10日、高知商業の優勝に酔いしれていた私は興奮のあまり物置きのまわりを歩いていました。近くにおかであらた材木類をヒトリのそくと、近くのブロックでいいにクモがいました。タナケモ科であろうと直感しましたが今までにあまり見たことのないものでした。私の家ではメガネやグモがほとんどのですが、クモの大ささは小さく色も淡白なのです。このとき次に16日に、談話会の冬期採集会で熊田さんより教えていただいた“キクリナ（Cicurina）”といふ言葉を思い出しました。ハラハラと検討した結果、このクモはコクナゲモ（Cicurina japonica）であることがわかりました。山の落ち葉下や洞窟に多いこのクモが自宅にいたので、へんうれしくなりました。逆にいふと、私の家の環境をこのクモが暗示しているのかとおもせん。

# 伝言板

## 1. わ知らせ

6月15日(日) 講話会例会が 目黒区立大島公民会館  
で会催いたします。

時間：午前 10時より 午後 5時

内容：総会・研究発表等

会費：500円程度予定

昼食は各自でご心配ください。

\* 講話人は、貞元己良さんと 鈴木勝治さんです。

講演も募集しております。

(東京都珠談話会)

## 伝言板

佐藤 幸子 さんより

4月16年度変わりのあわただしい日々を終り新しい勉強・新しい生活が始まる頃となりました。蜘蛛の世界も少からぬ変化があり、お互いにがんばらなければなりません。それで15月に1回は野外に出て蜘蛛に接し、蜘蛛の生活を観察し、加えて同定力を強めたハと思ひます。

日々は先生方や先生方について勉強しながらして行なっています。全部の方々に葉者で連絡するのも大変ですので。

『一寸、行って見たい』とか『今度は行きそうだ』など思ふ時に、すぐ電話連絡をして下さい。皆さんのサイトと御参加を待っています。

TEL 貞元己良 045-932-3980

鈴木勝治 0489-91-2984

佐藤幸子 045-841-1869

## お願い

### 松浦祐司

現在 ニゲモを研究しております。会員の方でニゲモを、お持ちの方、標本を借用させていただけませんでしょうか。

必ず返却させてくださいせんようしくお願ひいたします

# 談話室 Part I

新書

## 東京蜘蛛談話会蔵書目録

- No.118. 大河内哲二・川端純夫(1978) 埼玉のクモ類(埼玉県の  
クモ類目録と「埼玉県内の林地へ植生と真正クモ類の関係」)  
埼玉県動物誌 第125~144巻 (日)田中誠一
- No.119. 梅林一介(1978) 植並木の真正クモ類と自然環境(1)  
環境教育研究 1(1): 25~36
- No.120. ATYPUS No.73 (1978) pp 1~50  
後藤義典著用性(適格性)について問題のある日本のクモの学名(クモ類大部), 著者の振動による盗網性蜘蛛の説反対(上田和彦), E. Strand の序文にみた「アラブスピナー Spinner」完成までの「さつき」(松本誠治・小野辰洞), イオウイロハーリングモとスジボケハシリゴモの生態学的旋盤(中平清), 究明のクモ類学(中平清), 第4回東京クモモード会議(吉村良), 韓国クモ類相(白甲編), イオウイロハーリングモとスジボケハシリゴモとは何種である。(中平清), アダニソニアトリ分布(エトトリにヨウガえられやすハクモ: ニコボシコゲナハクモ), 金沢市市街地におけるジーロウモ(ハクモ)(徳永洋), アシダカグモの体毛について(笠崎良), 海岸性と丘陵性について(高野光男), 後藤義典著(後藤義典), 岩手県(然ニ目)のクモ類(井谷不思議), 日本産サソリモドキの地理分布・産卵數について(下野松栄一), 日本産サソリモドキの学名の命名と有効性について(木澤健太郎), 工才・アモリガシママダラの生態(近藤・松本・新海), クモの生態(大樹洋), クモの成虫休眠とその数種の相互関係(日周期活動を忠心として)(吉田真),
- No.121. ACTA ARACHNOLOGICA vol. 28, No. 1 (1978) pp 1~44  
長野県産アシナカグモの新種(大熊・千国), A new species of Ocrepeiridae, STRAND (Araneae, Linyphiidae) from a cave of Aomori pref. Japan (Hirosi SAITO). Hygrolycosa 属のクモ日本に産す(田中穂積), A new species of the Genus Neoribates (BERLESE), Neoribates kinosus n. sp. (Keiichi SUZUKI), トゲアシナカニムシの生活史について(佐藤正文), ハラタカムシの活動力について(高野光男),
- No.122. 未刊稿(1979) クモの親子——クモを知るための(1)  
田中穂積著(16pp), 16 (4): 90~15
- No.123. 九州クモの会報 No.5 (1979) pp 1~6 背振山系のクモ(佐賀県)(木庭泰・大熊千代子), WANTED コンピラコモリゴモとコウスキコモリゴモ(田中穂積)
- No.124. 松本誠治・関下俊英(1979) 道路交差点付近の街路樹より採集された小動物について、日本科学教育研究所調査資料 (164): 5~14
- No.125. ACTA ARACHNOLOGICA Vol. 28 No. 2 (1979) pp 45~95

## 談話室

会計より

四月に入り、談話会も新年度になりました。  
つきましては 55年度会費の納入をお願いします。

一般会員 2,800 円

学生(高校生以下)会員 2,000 円

会費の納入につきましては 同封の振替用紙を使用して  
いただけますと、手数処理も便利なうえ、送料も安  
くあがりますので 是非ともおすすめします。

また、今まで領収証を各会員で発送をしておりましたが、  
今後は振替用紙にて発送した場合は郵便局より渡  
される受け取りをもって領収証に変えさせていただきます。  
なお 現金で益々小たちと振替で送られても希望す  
る方には 領収証を発送いたします。

こうに新年度より会費受け取り報告を通信に載せていい  
ことにしました。通信を通しての確認をよろしくお願ひ  
します。(追) 会費を納入される時 必ずその内容(55年度  
会費等)を明記して下さい。

ただし、学生会員がおりますが、学生の方には会費が免除され  
ていい状態ですので、お手数ですが、身分を証明するとの(学生  
証やコピー等)を会員局宛お送り下さい(一良だりで結構です)

振替 : 口座 東京 クーケ4385  
加入者 東京蜘蛛談話会

会計局: 〒190-011 東京都西多摩郡羽村町羽1448

熊田憲一

# ついでね

## ⑤ 編集より(通信)

今回、31号より通信がかり版  
印刷に変わりました。

今まで通り、コピーで出してゆき  
ますと、談話会としての燃費は  
いいがたいですが、KISHIDAIA  
の1年間の燃料代が足りなく  
なってしまいます。

かり版でもと見落しがない  
かもしれませんのが断りの程を  
お願ひいたします。(松浦)

## ⑥ 会計より

ページの談話室でも御連絡  
しましたが、向對いたしました紙  
替用紙を御利用の上、55年度  
会費の納入をお願いいたします。

(熊田)

## ⑦ 事務局より

来月6月15日(日)同黒色瓦大  
株式会館で例会を開催いたし  
ます。発表希望の方は準備をして  
おいで下さい。尚、司会者は、貞元  
己度さんと鈴木勝浩さんです。  
(新海)

## ⑧ 編集より(KISHIDAIA)

45号は皆様のお手元へ届きました  
でしょうか。現在46号の原稿  
を募集しております。通信を合  
わせてようしくお願ひいたします。

(島田)

## 慶事板 Part IV(予告)

今年の秋頃 結婚される  
予定の方がおります。  
はっきりとした時に皆さんに  
お知らせいたします。今行  
32号でお知らせ出来ると思  
います。(D.CIA)

### [編集後記]

この通信31号を書き始めた頃は、八重  
桜が咲きほじりにはかりでしたが、通  
信が出来上、た今日 八重桜も散りて  
しまいました。我ながら自分の~~かさ~~  
てしまっています。そして自分に嚴く  
生きてゆかなければと反省しております。  
遅くなってしましました。

## 東京モノ談話会 —通信31号—

### ・本部

〒191 東京都日野市豊田1896  
萱島 泉方

TEL 0425-81-7128

### ・編集・発行責任

〒211 神奈川県川崎市中原区  
高宿612

松浦 施司

TEL 044-422-2842

1980年

5月5日 発行